

9月市議会定例会

代表質問・一般質問

9月市議会定例会では、9月11日(火)から9月13日(木)の3日間の日程で、11人の議員が代表質問・一般質問を行い、市政について、市長をはじめ関係理事者の考え方などをたどりました。紙面では一部の質問を要約し、質問順に掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録やホームページをご覧ください。

9月11日(火)

自民クラブ(代表質問)
仙波憲一議員(40分)



- (1) 西日本豪雨災害について
- (2) 地方創生について
- (3) 東新学園について
- (4) 工業用地の確保について
- (5) 小中学校の統廃合について
- (1) 西日本豪雨災害について

問 今年発生した新居浜市の雨による浸水問題については、治山治水の観点からも河川計画を見直す必要があると思うが、い

かがか。防災ラジオの普及率の現状はいかがか。避難勧告等の防災情報を出すために、ダムの放流など、他の機関との連携は図られているのか。

答 県が管理している二級河川の河川計画は、尻無川が策定済みで現在護岸改修が進められており、その他では、国領川が策定中と聞いている。今後は、県に対し、国領川の早期策定と計画未策定の東川などの河川計画策定を強く働きかけていきたい。防災ラジオの市内全世帯に対する普及率は約1.5%である。ダムの放流に関する情報については、鹿森ダム管理事務所とダム放流時の水防連絡体制に関する覚書を締結しており、放流開始時や異常洪水時防災操作を行う前などに消防本部に連絡が入ることになっている。

(2) 地方創生について

問 愛媛県を主体に東予東部圏地域域振興えひめさんさん物語が開かれる。今年度はプレイベントであるが、具体的な内容は。また、地域住民を巻き込んだ計画だが、イベントが終わった後、どのように生かそうとしているのか。また、3市連携によ

る交流人口拡大についてのプランは。

答 プレイベントは、知事と3市の市長がイベントの核となる6つの物語の魅力や楽しみ方などのプレゼンテーションを行うとともに、ものづくり物語と子どもたちの物語を試験的に実施する。イベント終了後も地域活性化の好循環を生み出すことにより、多くの人が憧れ、訪れる圏域の実現を目指したい。また、交流人口拡大については、3市広域イラストマップの作成やインバウンド向けのフリーマガジンに情報掲載することで交流人口拡大に努めている。

公明党議員団(代表質問)
藤原雅彦議員(40分)



- (1) 防災・減災対策について
- (2) 中学生の防災土育成について
- (3) 小中学校の児童生徒の荷物の重量化問題について
- (4) 若宮小学校の跡地利活用について
- (5) 地域主導型公民館運営について
- (6) 近代化産業遺産について
- (7) 自転車保険加入の義務化について
- (8) 液体ミルクの災害時活用について

(3) 小中学校の児童生徒の荷物の重量化問題について

問 新居浜市の小中学校の児童生徒の荷物の重量化の現状についてどのような認識か。また、子どもへの健康への影響についての認識と今後の対策についての所見は。

答 重量化の要因として、教科書がA4サイズに大判化されたことや上下版が合冊版になったこと、外国語活動や総合的な学習の時間などの新しい教科が増えたことなどが考えられ、子どもたちの健康への影響が懸念される旨の研究者の調査が示されていることは看過できない喫緊の課題と捉えている。今後の対策として、宿題で使用する教材を明示し、家庭学習で使用予定のない教材は教室で保管することや特定日に持ち物が重ならないように配慮するなど、負担軽減対策を小中学校や保護者と連携して進めたい。

(5) 地域主導型公民館運営について

問 非常勤の公民館職員が地域主導型を下支えしているのが実情ではないか。今までの議会質問で任期延長の要望をした。平成30年度も半年が過ぎようとしている。教育委員会として、こ

の任期に対する考えを聞きたい。

答 現在の公民館主事は一般職の非常勤職員として任用しているが、地方公務員法の改正により、平成32年度からは会計年度任用職員制度への移行を考えている。今後目指すべき公民館の在り方を明確にしながら、平成31年度の早い時期までに公民館職員の任用や勤務条件を検討したいと考えている。平成31年度については、新たな公民館の職員体制を整備するまでの経過期間として捉え、職員の任期満了により公民館運営に支障を来さない対応を検討したい。

いずみ会 (代表質問)
大條雅久議員(40分)



- (1) 自殺総合対策大綱について
- (2) 地域包括ケアシステムについて
- (3) 土地開発公社の役割について
- (4) 債権管理について
- (5) 別子銅山産業遺産を生かしたまちづくりについて

問 (2) 地域包括ケアシステムについて

自殺総合対策も地域包括ケアの一環と言える。地域包括ケアの構築は地域の中の支え合

い、助け合いシステムの再生である。高齢者福祉の側面だけでなく、子どもと子育て世代、障がい者を含むすべての住民のための支え合う地域づくりである。新居浜市のまちづくり計画の基本姿勢としてほしい。

答 地域共生社会の実現に向けた取り組みとして、新設された共生型サービスをはじめ、総合事業のサービスや生活支援サービスの創出、地域住民による互助の取り組み、地域課題解決に向けた地域資源の創出などのサービスや支援の対象として、障がい者や子どもを含めることを重視すべきであることについて、地域ケアネットワーク協議会などで協議を進めている。今後、本市の実情に合った地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めたい。

問 (5) 別子銅山産業遺産を生かしたまちづくりについて

旧別子銅山下部鉄道の線路跡の通行に際し、自転車と歩行者両者の安全な利用のための方策はどのようにしているのか。また、県道西町中村線の横水地区の付け替え工事に伴う下部鉄

道線路跡ルートとの交差点建設がある。快適な自転車、歩行者の通過について何かアイデアはお持ちなのか。

答 平成27年に策定した新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画に基づき平成28年度に路面標示による通行位置の明示を行っており、歩行者と自転車の境界に外側線を設置し、自転車側には自転車ピクトグラムの設置を行い、自転車と歩行者両者の安全を図っている。また、下部鉄道路線跡ルートとの交差点は、県との協議の結果、平面交差での計画となっており、前後の交差点を含めた横断歩道および信号機設置などの安全対策について、今後、県と協議を進めたい。

9月12日(水)

自民クラブ
永易英寿議員(30分)



- (1) 入札制度改革について
 - ① 建設業者格付の厳格化
 - ② 地域維持型J-V制度の導入
- (2) 「四国一子育てにやさしいまち」の実現に向けて

- ① 放課後児童クラブの利用拡充
- ② 保育所の大規模改修や建てかえ方針
- ③ 公立保育所の11時間開所
- ④ ふわふわドームの設置について

(3) マイントピア別子観光振興について

(4) 小中学校のプールについて

(5) 都市間交流について

(6) 広報について

(7) 災害時のWiFi環境について

問 (4) 小中学校のプールについて

小中学校プール全24施設の老朽化状況とその対策は。東中学校のプールは建築後50年余りが経過し使用を中止しており、授業では市民プールを使用しているが、解体や跡地利用など今後の方針は。中学校におけるプール授業の方針や学習評価の考え方、使用実態などの現況は。
答 建築後40年以上が9施設、30年以上40年未満が4施設あり、多くの施設で老朽化が進んでいる。対策としては、維持管理や補修、修繕を行い、安全な状態を保っている。東中学校のプールについては、解体費用が高額となるため、具体的な検討には至っていない。今後費用を

精査し、跡地の活用について、学校の意見も聞きながら、検討を進めたい。プール授業については、1、2学年のどちらかで必修、3学年は選択となっており、年間で5〜8時間の学習を行い、技能、態度、知識、思考、判断の観点から総合的に評価している。

(5)都市間交流について

問 新居浜市の都市間交流の現状と今後の方針は。姉妹都市や友好都市締結、災害協定締結などは。具体的に愛知県大府市との都市間交流の予定は。新居浜市から大府市へと住友重機械工業や下請企業が進出し、両市の商工会議所の交流や文化交流が行われているが、いかがか。

答 平成9年11月に中国山東省徳州市との間で友好都市締結のほか、74自治体との瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定、東予4市との東予広域消防相互応援協定など、現在13件の協定を締結している。今後においても、本市とゆかりのある自治体を中心に交流に向けた取り組みを進めていく。大府市とは、経済や産業での結びつきが強く、文化面の交

流においても、良好な関係と聞いている。年内の早い時期に都市間交流協定の締結が整うよう努める。

いずみ会

伊藤 優子議員(30分)



- (1) 介護保険事業について
- ① 第7期介護保険事業計画
- ② 介護予防事業
- ③ 介護予防・日常生活支援総合事業
- ④ 介護人材の確保

(2) 立地適正化計画について

- ① 市民への情報開示と市民意見
- ② 都市機能誘導施設
- ③ 居住誘導区域
- ④ 水道事業について
- ⑤ 保育士の処遇改善について

(3) U-18まちづくり会議について

- (2) ① ② 都市機能誘導施設

問 居住を誘導して人口密度を維持する居住誘導区域とみんなが集まり利用するような生活サービス施設を誘導する都市機能誘導区域を定めようとしている。駅周辺地区、特に駅南地区が以前に素案として示されていたが、その後、具体的な計画はどのようなになったのか。

答 新居浜駅南地区のまちづくりについては、まちづくりに必要な施設を立地適正化計画において都市機能誘導施設として位置づけることにより、施設建設に対する国の補助事業実施のため、前提条件が整うことになり、これを受け、今までまちづくり協議会や政策懇談会でいただいた意見や議論を核とし、都市機能誘導区域である駅周辺地区の中の駅南地区として、今後、皆様の意見を伺いながら議論を進めていきたい。

(3) U-18まちづくり会議について

問 シティブランド戦略を進める新居浜市が実施し、18歳以下の児童生徒が、高田ともみ代表から難しい条件や金銭の面は気にせずワクワクするような案を出してほしいと呼びかけられ、意見、アイデアが出されたと思う。可能な範囲で市の施策に反映していただきたいと思うがどうか。

答 U-18まちづくり会議では、34名の小中高校生に参加してもらい、市の地域資源をより効果的にPRする方法を考えるワークショップを行った。参加者はおもしろい、観覧者にとつても、市の良さや魅力をあらためて見詰め直し、再認識する貴重な機会になったと考えている。この会議で提案されたアイデアについては、今後内容を精査し、来年度以降の施策へ反映できるように検討していく。

9月13日(木)

無会派

太田 嘉一議員(10分)



- (1) 防災・災害対策について
- ① ダム緊急放流と予備放流
- ② 災害時避難情報
- ③ 鹿森ダム湖底の堆積土砂

自民クラブ
近藤 司議員(30分)



- (1) 災害に強いまちづくりについて
- ① 異常洪水時の防災対策
- ② がけ崩れ・土砂災害対策
- ③ ため池の防災・決壊対策
- ④ 災害時の避難対策
- ⑤ 災害廃棄物の処理対策
- ⑥ 自主防災組織の充実強化
- ⑦ 総合防災拠点施設の機能強化

(1) ① 異常洪水時の防災対策

問 西日本豪雨のような記録的豪雨が予測される場合、鹿森ダ



新居浜市議会事務局

◀新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

能強化
(1) ⑦総合防災拠点施設の機能強化

問 本市では現在、総合防災拠点施設を建設中である。この施設

内には防災関係各課が集約されることから、常時防災・減災機能を発揮するために危機管理センターなどを創設してはどうか。また、この施設には防災学習センターが併設されるが、市民の防災意識の向上にどう取り組まれるのか。

答 鹿森ダムについては、大雨による流入量を予測し、あらかじめ放流しておくことでダムの水位を下げるなどの操作を行っており、放流の際には、警報局によるスピーカーとマスコミを通じた放送、サイレンによる事前周知が行われる。別子ダムについては、別子ダム操作規程に基づき、警報サイレンや警報車の放送などの事前通知後に放流を開始すると聞いている。また、工業用地の造成として、具体的な埋め立て計画が進んでいるところはないが、今後埋め立て計画を進める中でダムや河川の堆積土砂の処分についても十分に協議していきたい。

答 総合防災拠点施設には、予防対策から応急対策、復旧・復興対策までを総括して指揮する機能を有した危機管理を所管する新たな部署が必要であると考えており、具体的な検討を進める。また、災害や防災に関する学習・体験施設となる防災センターについては、小中学校の学習カリキュラムや自治会などの防災学習に組み込むなど、できるだけ多くの方に施設を利用してもらい、防災意識や地域防災力の向上につなげたいと考えている。

無会派
神野 恭多議員 (10分)



(1) 学校教育の充実について

① 児童生徒の健全育成の推進

② ICTの整備推進

③ 子供たちの安心安全の推進

(2) みんなでともに助け合い、支え合う地域づくりについて

12月市議会定例会

時間 午前10時開会 **お気軽に傍聴にお越しください。**
場所 本会議の傍聴：市役所7階本会議場傍聴席
委員会の傍聴： // 6階各委員会室傍聴席

開催日	内容
12月4日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託 決算特別委員長報告、討論、採決
12月11日(火)	一般質問 永易 英寿 議員 (30分) ・予算質疑 篠原 茂 議員 (30分) (個人) 佐々木文義 議員 (30分)
12月12日(水)	一般質問 大條 雅久 議員 (10分) ・予算質疑 田窪 秀道 議員 (30分) (個人) 井谷 幸恵 議員 (10分) 太田 嘉一 議員 (10分) 藤田 誠一 議員 (30分) 藤田 幸正 議員 (10分)
12月13日(木)	一般質問 神野 恭多 議員 (10分) ・予算質疑 小野 辰夫 議員 (30分) (個人) 三浦 康司 議員 (20分) 高塚 広義 議員 (20分) 米谷 和之 議員 (10分) 岡崎 溥 議員 (10分)
12月14日(金)	企画総務委員会開催 市民経済委員会開催
12月17日(月)	福祉教育委員会開催 環境建設委員会開催
12月20日(木)	委員長報告、討論、採決

議事課 ☎ 65-1321 FAX 65-1322

- ① 骨髄ドナー助成制度の創設
- ② 無料化への検討
- ③ 新居浜市の現状と問題点
- ① 値上げの動き
- ② 学校現場の多忙化解消について
- ③ 少数者に対する今後の課題
- ① 取り組みの進捗状況
- ② ハラスメントの防止と対策
- ③ トップとしての市長の姿勢
- ① 世界と日本の動き
- ② 豪雨・土砂災害
- ③ 命を守る防災、減災について
- ① 南海トラフ地震被害
- ② 性的マイノリティーについて
- ③ 議員等によるパワハラについて

無会派
井谷 幸恵議員 (10分)



無会派
米谷 和之議員 (10分)



無会派
岡崎 溥議員 (10分)

